



ジュゴン Vol.89

ちゃんぷるニュース

 **SDCC 2016. 11. 22**
Save the Dugong Campaign Center

CONTENTS



- 2/3 情勢・ヤンバルの森と外来種
- 日本環境会議沖縄大会
- 沖縄県交渉報告
- 4/5 各地での IUCN 報告会
- 6/7 ぶどうの木保育園バザー便り
- わんさか通信★ジュゴンのわ
- コラム～トランプ騒動～

ヤンバルクイナ、ノグチゲラ・・・そこにしかない生きものたち

やんばるの森には貴重な自然が残っています。それゆえ世界自然遺産に登録されようとしています、そこには米軍北部訓練場が広がっています。自然と基地、矛盾していないでしょうか。

北部訓練場の過半が返還されるというけれど、その代償として高江の集落を囲むようにヘリパッド基地建設が進められています。これはほんとうに基地負担軽減なのでしょうか、おかしいことが強行されています。

「基地はいらない、静かな暮らしを壊さないで」と座り込みは続けられていて、日々、現地から届くニュースや映像を観るたびに、心が重苦しくなっていました。

やんばるの森を守りたい

10月1日名護市でのIUCNハワイ会議の報告会に合わせて辺野古、高江を訪れました。高江では日曜日だったので阻止行動はなく静かでしたが、それでも機動隊の車両は止まっていて、警備員は監視を続けていました。立ち続ける若い警備員の顔をゆっくり歩きました。何を呼びかけようかと考えながら。

N-1 裏テントの奥には有刺鉄線を張り巡らせたフェンスが建てられていて、その様は痛々しい…。どうしてこんなことができるのだろう。ゲート前で市民を力ずくで排除する機動隊員が、森を守る人になる日は来るだろうか。

写真家牧志治さんに案内していただき、やんばるの森を散策、座り込みの場所から少し離れた新川川をのんびり歩きました。川辺を蝶が舞う美しい風景が目には焼きついています。滝でひと休み、ゆっくり流れる時間、そこには高江の闘いの現場とは違う世界が広がっていました。同じやんばるの森なのに…

ジュゴンの棲む辺野古の海も やんばるの森も いのちがいっぱい 守り抜きたい

道の駅で食べたパイナップルシャーベットは冷たくてとても美味しく、鼻の奥がツーンとした

高江はパイナップルの産地なんですよ

「高江に座り込みに行こう」ではなく、「高江にパイナップルの収穫を手伝いに行こう」

そんな世の中になればいいな

そこに本当の豊かさがあると思うから

(関西 池側恵美子)

[WEB] <http://www.sdcc.jp/>

[EMAIL] info@sdcc.jp



ふどうの木保育園バザーで子どもたちと歌う「ゆかりママ」(6面)(ステンドグラス前)



N-1 ゲート前に待機する民間警備員とゲート前を塞ぐように駐車する機動隊の装甲バス(本面)

情勢

「ヤンバルクイナ・ノグチゲラを守ろう！ オスプレイ配備中止を」

9月15日、ヤンバルの森が国立公園に指定されました。来年2月に「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島世界自然遺産」として推薦リストに登録するためです。ヤンバルクイナ、ノグチゲラをはじめ絶滅の危機にある固有種が多いヤンバルの森を国立公園に指定するのは当然のことです。しかし、伐採を厳しく規制する特別保護地域がヤンバル地域の2.3%、1種保護地域が12.9%とする地域割はヤンバルの生態系を守るものではありません。また、森、川、海の連関を守ることが生態系保全の前提ですが、保護海域は一部にとどまっています。名護市以北の沿岸域を対象にすべきです。国立公園に隣接する北部訓練場の存在や、ヘリパッド建設のための伐採、オスプレイの騒音、下降気流、高熱の排気ガスなど多くの問題点があります。これらの問題を不問にする国立公園の指定は非科学的です。翁長知事は歴代の県知事と同じく1996年SACO（日米特別行動委員会）合意「北部訓練場の一部返還」が沖縄県の負担軽減になるとしています。したがって、翁長知事はヘリパッドの建設（移設）反対ではなく、「オスプレイの配備は反対」です。ヤンバルの森の国立公園指定も「環境保全と地域振興の面から有益で大変喜ばしい。世界自然遺産登録に向け一歩前進」です。国頭、大宜味、東村の各村長も世界自然遺産の登録による地域振興に期待していますが、国頭村長は北部訓練場は「好ましくない」と本音を出しています。

2000年、2004年のIUCN（国際自然保護連合）は勧告「日本のジュゴン、ノグチゲラ、ヤンバルクイナの保全」～「保全計画の策定」と「環境アセスのゼロオプション（ヘリパッド建設代替案の検討）」を決議しました。このIUCN勧告を日本政府は守るべきです。IUCNはユネスコの委託事業として行うヤンバルの森・現地調査（来年夏ごろ）で、この勧告が守られているか否かを検討すべきです。2016年IUCNは決議「島しょ生態系への外来種の侵入経路管理の強化」を採択しました。しかし、高江ヘリパッド建設で県外からの張芝に外来種が付着していたことが沖縄県の2015年調査で明らかになっています。外来種は生態系への影響だけでなく、農作物の被害など県民生活に多大なる影響をもたらします。厳しく調査すべきです。私たちは2018年夏の世界遺産委員会での審査に向けて、ヤンバルの森の生物多様性と生態系を保全する立場から「ノグチゲラ・ヤンバルクイナを守れ！ヘリパッド建設反対・オスプレイ配備中止！」「外来種侵入経路管理強化のIUCN決議を履行せよ！」の世論を広げたいと思っています。



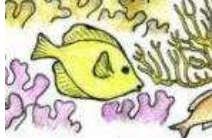
東新高江の新川川
いつまでも残したい豊かな森と清流



ヘリパッド建設工事が進む米軍北部訓練場内N1地区
写真 11/13 沖縄タイムス



10/24 沖縄県交渉
日本自然保護協会の安部真理子さんと共に



「環境権確立へ具体的な実践を、本土から」

第 33 回日本環境会議沖縄大会が沖縄国際大学で 10 月 21 日～23 日開かれました。テーマは「環境・平和・自治・人権 ～ 沖縄から未来を拓く」。学者、研究者や NGO、大学生など海外参加者を含めて 300 人が参加。地元紙は翌日の社説で「基地の『不正義』質す契機に」（琉球新報）、「『環境権』確立の議論を」（沖縄タイムス）と紹介しました。

辺野古、高江の緊迫した状況の中での沖縄大会は、民意を無視した愚行が横行するのは「沖縄に対する構造的差別があるから」、それを座視することは「それに加担すること」で、「人々の身に必ず降りかかってくる」。本土の人々に「日本の平和をどのように作っていくのか」、「決して次代に引き継いではならない」と、厳しく当事者意識を問いかけました。



大会では「環境権の確立」にむけた実践を進める NGO 活動が注目されました。桜井国俊さん（沖縄大学名誉教授）は日米地位協定で情報公開が困難な沖縄の環境 NGO に、「Watch Dog」としての役割と戦略的能力の向上が求められる」と土壌汚染の追及やジュゴン訴訟の取り組みを評価し、提言しました。大久保規子さん（大阪大学大学院法学研究科教授）は報告「辺野古が問う日本の環境民主主義」で、オース条約（注）の柱が「環境情報の公開」、「行政決定への参加権」、「環境法違反の行為を司法に訴えることができる」であると紹介し、予防原則や持続可能性原則などが適用できる専門的な裁判制度をつくるためにも国際的な連携の必要性を強調しました。最後に、青年分科会が海外参加者を含めて 3 日間開催されたことに、「沖縄から未来を拓く」決意がうかがわれました。

（事務局 蛭川義章）

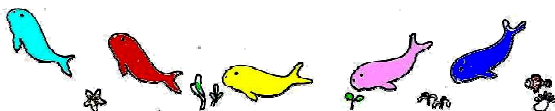
（注）オース条約は 1998 年に採択された環境分野の市民参加条約で、日本は批准していません。正式名称は「環境問題における情報へのアクセス、意思決定への市民の参加及び司法へのアクセスに関する条約」。2016 年現在

10/24 沖縄県交渉

～あらゆる方法で埋め立てを阻止しよう～

辺野古不作為違法裁判が高裁で敗訴した緊迫した情勢の下、「あらゆる方法で新基地建設を止める」方針の検討を関係各課（辺野古対策課、自然保護課、海岸防災課、水産課）に求めるため交渉しました。確認点は以下の通りです。

1. 沖縄県ジュゴン保護対策事業検討委員会（16～17 年度）が、一般的に調査・検討するのではなく、辺野古・大浦湾のジュゴンの餌場、海草藻場の現状を調査することを求めました。沖縄防衛局が事後調査（H25 年シユワブ水域生物調査報告書）で、建設予定地でジュゴンの食み跡 77 本を認めているからです。さらに、沖縄防衛局の環境アセスの問題点を環境影響評価審査会で議論すべきです。



2. 埋め立て承認書の留意事項（H25.12.27）について、第 2 項「外来種対策やジュゴン、ウミガメなどの保護対策」、第 4 項「添付図書の変更について」などの事前協議については、沖縄県に承認権があることを改めて確認しました。沖縄防衛局はジュゴンの餌場、海草藻場の保全措置について一切議論していません。これは留意事項の違反です。

3. 県土砂条例の不十分点を指摘し、IUCN 決議「外来種の侵入経路管理の強化」をふまえて、土砂の審査日数増と人員増を申し入れました。

冒頭、「IUCN（国際自然保護連合）第 6 回世界自然保護会議の結果を受けての要望書」を日本自然保護協会と提出しました。辺野古の埋め立て土砂の現場を世界の科学者に見てもらふべきとの判断からです。（詳細別項）

（事務局 蛭川義章）

IUCN決議を広げよう

10/1名護報告会

各地でIUCN世界自然保護会議
の報告会を開催しました



IUCN
World
Conservation
Congress
Hawaii 2016

名護での報告会に参加して、ハワイ会議と現場はつながっていると実感できとても良かったです。過去3回のジュゴン保護の勧告・決議に加え今回の外来種問題の決議は私たちを、長年座り込みを続けている皆さんを大いに勇気づけるものだと思います。その思いを共有できました。報告会は名護市議の東恩納琢磨さんの司会で、ヘリ基地反対協代表の安次富浩さんの挨拶で始まり、SDCCC国際担当の吉川秀樹さん、日本自然保護協会の安部真理子さんの基調報告、SDCCC代表の海勢頭豊さんのまとめの挨拶があり、私たちも活動報告をしました。

“沖縄県に働きかけIUCNの専門家を呼び現地視察してもらおう”“沖縄県で国際会議を開催したい”との提案には展望が開けました。「稲嶺市長がハワイ会議に参加できたことは、今までの取り組みの積み重ねの結果、座り込みを続ける方々含めみなさんのがんばりです。そうさせているのは、このすばらしい辺野古の海があるから」という力強いメッセージが心に響きました。

地元の方から「がんばってきてくれてありがとう」と声をかけて頂き、まだまだがんばらなくちゃ！と心に誓いました。
(関西 池側恵美子)



上：SDCCCから活動報告

右：ジュゴンブース
ジュゴングッズが、かわいいと大人気。色々な方に声をかけていただきました。



11/5大阪報告会

11月5日 大阪ドーンセンターにてIUCN第6回世界自然保護会議の報告会を開催しました。

参加者は30名。沖縄の環境保全に関心があり、ネットで検索して参加してくれた大学生の方もいました。海の生き物を守る会・辺野古土砂搬出反対全国連絡協議会（辺野古土砂全協）の向井宏さんも参加されました。

基調報告は「翁長県政とともにIUCN決議の履行を求めよう」です。第6回世界自然保護会議は、「島しょ生態系への外来種の侵入経路管理の強化」を決議しました。この決議の履行を日本政府に求めていくことが、新基地建設断念と沖縄ジュゴン保護の大きな力になります。またSDCCCスタッフの会議での奮闘の姿を、映像を交え紹介しました。

ヤンバルの森の世界自然遺産指定に「高江で無謀な伐採をしているのに、可能なのか？」と質問が出ました。「指定にあっては、17年にはIUCNの調査が必ず入る。森林破壊の現実を世界に知らせるチャンス。IUCN決議の履行を求める国際署名を広げましょう」とまとめられました。
(関西 松島洋介)



海の生きものを守る
会・辺野古土砂全協の
向井宏さんから、お話し
いただきました。



11/12首都圏報告会

11月12日、港勤労福祉会館にて、首都圏のIUCN報告会を行いました。会議でのSDCCの活動内容を、参加した全スタッフからそれぞれ報告しました。

蜷川事務局長からは、今回の会議では沖縄県副知事や名護市長が参加して「辺野古新基地」反対を世界に発信出来たことや、「島しょ生態系への外来種の侵入経路管理の強化」が採択されるなどの大きな成果の報告があり、IUCN決議を活用して、今後の取組を進める提案がありました。

次に辺野古土砂搬出反対全国協議会顧問の湯浅一郎さんから、2015年5月に会が発足し、今年11月には、全国から寄せられた反対署名93,899筆を、総理府へ提出したこと、防衛省や環境省との交渉を行い、その成果の報告等がありました。当面の取組として、

IUCN決議の国際的な包囲網を力にして、辺野古への土砂搬出を止めるために尽力したいと話され、SDCCと共に手を携えて活動していくことが確認されました。

(首都圏 宮城昭子)



辺野古土砂全協の湯浅一郎さん

10/18 IUCN国会報告会

10月18日衆議院第二議員会館会議室にて、「うりずんの会」の国会議員のみなさまにIUCN報告を行いました。

日本自然保護協会の安部真理子さんから「外来種問題」を中心にIUCNでの取り組みが報告されました。

SDCCの三村から、動議17「島しょ生態系への外来種の侵入経路管理の強化」について、大会会場での一連の取り組みを報告しました。特に稲嶺名護市長の発言、安慶田副知事の発言など注目されていました。

SDCCの蜷川事務局長からは、「今後の検討課題」と題して、IUCN決議を踏まえた方針について提起がありました。

うりずんの会から参加された国会議員は、照屋寛徳衆議院議員、赤嶺政賢衆議院議員、玉城デニー衆議院議員、糸数慶子参議院議員、伊波洋一参議院議員。

照屋寛徳議員から「沖縄にたくさんいるアフリカマイマイは外来種でしたか？私はあれを食べて育ったので、

私は小さいころから外来種駆除に貢献してきたということになりますな」糸数慶子議員も「戦後の貧しい時期はアフリカマイマイを肉の代わりに油みそに使っていました」という外来種にまつわるエピソードをご紹介されました。

今回の報告会を通じて、IUCN決議の成果を確認し、今後に繋がる報告会となりました。

(首都圏 三村昭彦)



発言される照屋寛徳議員



SDCCからハワイ会議の報告

9/28日本政府による沖縄への弾圧を許さない集会

9月28日「日本政府による沖縄への弾圧を許さない集会」が日比谷野外音楽堂で開催され、2500人が参加しました。沖縄からの訴えは、大城悟沖縄平和運動センター事務局長。「全国からの署名やカンパ、現地行動への支援など励まされている。高江は全国から機動隊が送り込まれ異常な事態。日米同盟優先の安倍政権を許してはならない。辺野古・高江に来てください！安倍政権に抗っていこう」と訴えました。

ジュゴン保護キャンペーンセンターからは、9月に開催されたIUCN(国際自然保護連合)第6回世界自然保護会議で、採択された決議「島しょ生態系への外来種の侵入経路管理の強化」について報告をしました。

集会終了後参加者は、銀座をデモ行進しアピールしました。

(首都圏 三村昭彦)

ぶどうの木保育園バザー便り

ちゃんぶるニュースでお馴染みのぶどうの木保育園のバザー便りです。晴天に恵まれた11月13日、園舎には800人近くの園児、卒園児、保護者など懐かしい顔が見られた。

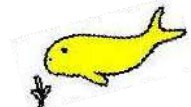
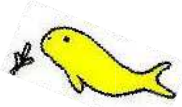
「ゆかりママ」と叫びながら飛んでくる子どもたちは満面の笑顔。親になって子どもを連れてくる卒園児もいる。ハグしてギュッとして、当時のようにほっぺたにチューしてくれたり。神さまやまわりの人たちの大きな愛に包まれて素適に育ったことが見ればわかる。そして園に帰ってくることが楽しみであり喜びなのだ。

沖縄や熊本支援の輪も広がっている。それぞれの物産展にもぎわい、沖縄から書浪人善隆さん、ゆかりママも出店した。沖縄平和キャンプを継続している活動はバザーの中でも「辺野古のジュゴンを守りたい!」「基地はいらない」と表現し

ている。

ジュゴン保護キャンペーンセンターのお姉さんたちも出店。子どもの大好きなジュゴンは飛ぶように売れた。いつまでもジュゴンへの想いが育ち続けている子どもたちの帰る場所としてぶどうの木保育園はあり続ける。

(沖縄 高垣 縁)



①んさか通信★ジュゴンの①

北限同士!

デイゴの花が咲き~♪のフレーズでもお馴染みの、島唄の歌詞にも登場する「デイゴ」、沖縄県の県花でもあります。なんと日本では沖縄が北限、ジュゴンと一緒に。

4、5月頃に真っ赤な花を咲かせます。大学合格の知らせに本土では「さくら咲く」という所を沖縄では「デイゴ咲く」と言うとか?!

我が家の庭先にあったデイゴは5年前害虫にやられ、枯れてしまいました。デイゴが欲しいなあ~と思っていた今年、市の緑推進課が苗を販売すると聞き行ってみると、あった♪しかも¥300-

吟味する私に隣のおじさんが「これは巨木になるよ」と忠告、家をも壊すと言うそうです。

手に取るとなんか痛い、よく見ると幹にトゲが。「見てトゲがあるんだよ」と言う私に島生まれの旦那がひと言・「当たり前」。え~常識なの? 今度大きく成長したデイゴの幹をじっくりと見てみよう。

(沖縄・小平)



デイゴの苗と、幹に抱き着くジュゴンちゃん
「北限どうしだね!」

トランプ騒動～くらむ・コラム～

トランプが、次期アメリカ合衆国大統領に決まった。圧倒的にヒラリーの当選を確実視していたマスコミ報道だが、完全に恥をかかされ、ざま～みろって言いたい。

米国社会の崩壊の恐怖が、まさか民主主義政治の手段であるゲーム化した選挙制度で起こることを、予想していなかったとでもいうのか？トランプのような人間の欲望を煽動して当選した大統領を、ただ批判するしか能力がないということなのか？いや、覇権主義国家米国の軍産複合体の既得権益に乗ったヒラリーの方が、大統領になるべきであったとでも言うのか？冗談じゃない。沖縄のアイデンティティに照らせば、米国民主義のレベルの低さがよく分かるというものである。

そこでだが、まだトランプの方が良い？との判断からか、翁長知事は、いち早く祝電を打ったという。できれば、

沖縄から米軍を撤退してくれるとありがたい。そこで慌てたのが安倍日本政府である。オレオレ詐欺まがいのゲーム化した選挙制度で、安定多数を確保した自公政権だから、トランプを批判することなどできない。悪いことに、お隣のバク政権も崩落の断末魔である。日本国民もこの後TPP問題で大騒ぎするであろうし、頼みの米国も内戦状態になりかねない。

安倍は早速トランプに電話して、11月17日に首脳会談を行うという。よりによって私の誕生日で、その日、那覇市パレット市民劇場で「海勢頭豊 作品コンサート」を行うが、果たしてどうなることやら。とにかく、一億玉砕国体護持思想の安倍政権を、トランプさんが瓦解させてくれたらいいのだが…。

海勢頭豊（うみせど ゆたか：SDCC 共同代表）

報告

映画「標的の村」をみる会inすいたに参加しました！

10月16日、大阪吹田の円満寺の広間で、「標的の村」の上映会がありました。呼びかけは、平和な世の中を子どもたちに手渡そうと、昨年吹田・摂津のママたちが立ち上げた安保関連法に反対するママの会@すいせつ。

「標的の村」は、普天間基地にオスプレイが配備された

2012年に作られた映画で、豊かな暮らしがヘリパッド建設で壊されないようにと、声をあげた高江の人たちの姿を描いています。建設が強行されている今、とてもタイムリーな上映会でした。3回上映で計170人以上の参加者があり、草の根活動の底力を感じました。

各回上映前にSDCCから、沖縄の基地と辺野古・高江の現状をお話しし、自分事として考えてもらえるよう呼びかけました。印象深かったのは上映中の皆さんの反応。和室での観賞が心を開いてくれるのか、子どもたちがしゃべっているシーンでは「うん、うん」と深くうなずき、強制排除されているシーンでは「えー、なんでー」と憤り、泣いたり笑ったり。沖縄の苦悩をしっかりと心に刻まれたようでした。

（関西 山根富貴子）



<首都圏>

- ・12/4(日)「高江～森が泣いている」緊急上映会
11時 13時 15時 協力券: 500円
@大田区民センター 5階第9教室
- ・12/5(月)防衛省前行動(定例毎月第1月曜) 18時半～
- ・12/10(日)日比谷野音集会 13時半～ 集会後デモ
- ・12/11(日)沖縄・高江ヘリパッド年内完成を止めよう!
2016 ZENKO 冬集会 in 横浜 10時～17時
@加瀬会議室・鶴見駅前ホール 協力券: 500円

《 今後のスケジュール 》

<関西>

- ・12/1(木)おきなわ茶会 モモの家 19時～21時 500円
- ・12/10(土)沖縄県民の民意の尊重と、基地の押し付け撤回を求める総がかり行動 IN 大阪
@扇町公園 13:30 開場 14時～15時 15時ウォーク出発
- ・12/15(木)じゅごん茶話会 @京橋事務所 14時～16時
- ・12/18(日)「沖縄に基地はいらない! 戦争・憲法改悪許さない! 冬のZENKO 集会&デモ」 13:30～集会 16:50 デモ出発
@大阪/福島区民センター 協力券 500円

ミーティングのお知らせ

首都圏では月に2回(不定期)、関西では毎週火曜日にミーティングをしています。どうぞお気軽に、のぞきにきてください。12月の首都圏ミーティングは12/6(火)、17(土)@飯田橋事務所。関西は京橋事務所です。いずれも19時～

10.23 命どう宝団結まつり

10月23日、江東区亀戸中央公園で「改憲・新基地・生活破壊NO! 命どう宝団結まつり」が開かれました。ステージではエイサーや三線演奏、獅子舞、団体のアピール、そして、沖縄県高江から儀保昇さん(ヘリパッドいらない住民の会)が来られ、ヘリパッド建設をめぐる現状について報告されました。その後、交流広場で「儀保昇さんを囲む集い」が行われ、そこで「怪我をしても、逮捕されても、やんばるの森を守るため闘っていく」と力強く話され、「人が必要です。皆さん現場に来てください」と訴えていました。沖縄と連帯して闘っていきましょう。

SDCCのブースでは署名集めとジュゴングッズ販売

のほか、今年もオリオンビールとスタッフ手作りのサターアンダーギーを販売し、好評で完売しました。

(首都圏 矢敷克子)



10.30 大阪団結まつり



高江から伊佐真次さんがいらっしゃいました!

SDCCはハワイ会議のときのキルトバナーを持って登壇。UCNハワイ会議に参加してきたこと、大阪府警機動隊の派遣についての住民監査請求のことをアピールしました

Editor's Note

9月のUCNハワイ会議から戻った後、名護(ヘリ基地反対協との共催)、大阪、東京で報告会を開催しました。辺野古土砂全協報告会に賛同してくださり、「どの故郷にも戦争に使う土砂は一粒もない(土砂全協)」と「基地ではなくジュゴン保護区を!(SDCC)」がハワイ会議の決議を共に広げようと、しっかりと手を取り合うことになりました。協力の輪を広げて、地域から世界から、辺野古のジュゴンも高江やんばるの森も、守っていきましょう。(山根)

ジュゴンちゃんぶるニュース VOL. 89 2016年11月22日発行
ジュゴン保護キャンペーンセンター Save the Dugong Campaign Center (SDCC)
〒162-0815 東京都新宿区筑土八幡町2-2-1
第1千代田ビル301 なかま共同事務所内 TEL/FAX 03-5228-1377
○ <http://www.sdcc.jp/> ○ info@sdcc.jp
(関西連絡先) 〒534-0025 大阪市都島区片町2丁目9番21号野口ビル302
TEL/FAX 06-6353-0514

会費(2000円)&カンパ振り込み先

郵便振替:
加入者名 ジュゴン保護キャンペーンセンター
口座番号 00140-9-660199
他行、コンビニからは: ゆうちょ銀行 ○○八支店
口座番号 普通 8159084

ちゃんぶるニュース購読会員募集中です。年会費2000円で年6回ニュースをお届けします
お問い合わせは、上記事務所まで。ニュース購読で、あなたもジュゴンサポーターに!